



ニュース&トピックス

コロナウイルス感染予防の取組み

トライアングルではコロナウイルス感染予防のため、来所された皆様に手指、靴の消毒・検温・マスクの着用をお願いしております。ご理解・ご協力をお願いいたします。

香野教授の保護者面談について

トライアングルでは、これまでのお子様の表れや、今後の在り方について、今月も保護者面談を実施します。面談は、静岡大学の香野 毅教授が行います。

1月の面談日程は、スケジュールが決まり次第、トライアングルの玄関に掲示します。

面談を希望される方は、トライアングルスタッフにお声がけください。

年末年始の休業日について

下記の期間を年末年始の休業日とさせていただきます。

休業期間：2021年12月29日（水）
～2022年1月3日（月）

営業は、2022年1月4日（火）からとなります。

ご意見・ご感想をお寄せください

第15回目のニュースレター、いかがでしたか。

まだ、至らない点がたくさんあるかと思えます。今後さらに内容を充実させていくために、ご意見・ご感想等、なんでも結構です。下のメールアドレス宛にどしどしお送りください。よろしくお願いします。

triangle@shizuoka-fukushi.or.jp

冬の 澄み切った青空をバックに、遠くの富士山がくっきり見える日が増えてきています。皆様いかがお過ごしですか？今年もコロナの影響で大変な年でしたが、おかげさまで施設内での感染者を一人も出すことなく一年を締めくくることができそうです。ニュースレター第15号をお届けします。お楽しみいただければ幸いです。空気の乾燥する季節になってきました。どうぞ健康にはお気をつけてお過ごしください。

SDGsを知っていますか？

常葉大学教育学部 初等教育課程講師 野村 和代

S D Gsといえば環境問題を連想する人も少なくないことでしょう。最近はスーパーやお店の看板にあったり、バッジをしている人もいたり、街中で見かけることが増えてきました。

SDGsは国連で採択された、2030年までに達成するという17個の目標のことです。もちろん環境問題も目標の中に入っていますが、『誰一人取り残さない』というのがSDGs（持続可能な開発目標）のコンセプトであり、教育や福祉の課題、働きがいや生活のしやすさ、少数派の生きづらさの課題なども目標にあげられています。

『誰一人取り残さない』というワードが気になって、コロナが蔓延する直前の秋に、SDGsのカードゲームのファシリテーター研修に参加しました。そこで出会ったことが『ジブンゴト』というアプローチです。他人事（ヒトゴト）ではなく、自分事（ジブンゴト）というわけです。

先日、小学校の実習発表会に参加したところ、SDGsを授業のテーマにしたというグループがいくつかありました。発表を聞いていると、とても一生懸命に取り組んだことは伝わってきましたが、ジブンゴト感はあまり感じられず、「こういうことはとても大切なので、みなさんががんばりましょう」というような雰囲気を感じました。SDGsは一人一人の小さなアクションが、良く方向にも悪い方向にも大きな結果につながっていくんだという前提があります。「大事だから、教科書に書いてあるからで終わるのではなく、自分の見えていないところで、自分の気がつかないところで、誰かが困っていたり、自分のアクションによるマイナスの結果を引き受けてくれているかもしれないという想像力を働かせていくことが大切で、そこをジブンゴトとして考えられる仕掛けづくりが大



トライアングル通所、中学1年生制作作品

切」 「環境問題だけでなく、クラスの一人一人がそれぞれの居心地のよさを大事にするというのもSDGsにつながる」というようなことをコメントしました。SDGsはだれもが住みやすく、生きいきとした生活を送ることの実現でもあるわけです。それには自分以外の人や生き物・環境への関心をもつこと、想像を働かせていくことが大切になります。

とはいっても、想像力を働かせるってとても難しいことです。知らないことを想像する

のは大変です。でもちょっとしたヒントがあれば、想像しやすくなります。年末になるといろいろな寄付やギフトを募っている場面に出会います。そのときにすこし調べてみたら、想像力を働かせるヒントがみえるかもしれません。また、自分の困っていることや心配なことを他の人に話してみると、その人が想像力を働かせるためのヒントになるかもしれません。2021年が終わり、2022年が始まります。ジブンゴト視点でアクションを起こしてみませんか。



スタッフ紹介



香野 毅 先生

好きなこと：最近気づいたのですが、自分は仕事が好きみたいです。そう思うことにしました！仕事やプライベートで人と話すことも好きですが、一人で散歩やジョギングしているのも好きです。その後の飲食までがセットですね。

やりたいこと：旅行に行きたいですね。コロナで中止になった海外視察や国内学会を3倍くらい取り戻したい。

一言：トライアングルのおかげで様々な経験ができます。たくさんのお話が聞けて、いろんな姿を見ることが出来ます。同時に、まだまだやりたいこともありますから楽しみです。

教室のひとこま

教室の様子はホームページでも紹介しています。ぜひ、ご覧ください。



友達の「凄い！」「頑張ってるね」の声を背に、慎重に並べ上げました。



お店の配置も自分たちで決めて、いざオープン！「ご注文お聞きしま〜す！」



「いーち、にー、さーん、しー、ごー・・・」次はもう少しスピードを上げて数えてみよう！



スタッフが作ったホッケーの道具でゲーム開始！！どちらが先にゴールに入れられるかな？

子育てのヒント 苦手なことにチャレンジする時のサポート方法

今まで、達成感を感じたり自信をつけたりする経験の少なかった子どもが、新しい取り組みに対して消極的になってしまうのは仕方ないことです。いきなり頑張ってやるように仕向けてもうまくいくはずがありません。以下のことを頭に入れて一緒に取り組んでみてください。**1. 苦手なことを無理に好きにさせる必要はありません。**苦手意識は誰にもあること。うまくいかなくても『やってみること』が大事だということを伝え、チャレンジする勇気を認め、褒めてあげましょう。**2. 『うまくできない』自分を許せるようになることも大事です。**チャレンジが失敗した時の大人側の対応が重要です。本人が「まあ、いいか」「仕方ないな」と思えるよう、失敗した時のダメージを最小限に抑える『上手に諦める』方法を考えてあげましょう。**3. 『得意なこと』があれば苦手なことにもチャレンジできるようになります。**『得意なこと』が一つでもあれば、苦手なことのある自分を許せるようになりますし、チャレンジしてみようという気持ちも持てるようになります。苦手なことにチャレンジする前に、『得意なこと』を伸ばしてあげましょう。

学校では教えてくれない大切なこと

スタッフのオススメ～書籍編『ネットのルール』～

今や小学生でもスマホを持つ時代。インターネットは私たちの生活に欠かせないものになっています。怖いのは、この時代に生まれた子どもたちは『ネットの危険性』を全く感じていないということではないでしょうか？インターネットのおかげで私たちの生活は便利になりましたが、同時に多くの危険を抱えてしまったのも紛れもない事実です。大人の知らないところで、子どもたちが容易に危険なSNSなどに繋がってしまうことは、避けることができなくなってきています。この本は、そんなトラブルに巻き込まれないようにするための知識や注意点を、主人公のマナブくんの失敗を通して、マンガで楽しく学ぶことができるように工夫されている良書です。「こういうことをしたら危ないんだ。」「私、これ普通にやってたけどダメなんだ」と、押しつけではなく自分で気づきながら学んでいけるのもオススメのポイント。子どもだけでなく、インターネットに疎い大人の方にも読んでいただきたい内容になっています。ぜひ手に取ってみてください。この本をきっかけに、ご家族でネットの使い方について話し合ってみるのもいいかもしれませんね。



編集後記 家族に迎えた4羽の闘鶏に変化が。皆お年頃で私よりも雌鶏に興味があるらしい。唯一、私の呼びかけに反応してくれるのは体が大きくならないチビだけだ。とはいえ以前のような関係ではない。求愛ダンスだと思っていたのは、やはり威嚇だった。今は、噛みつかれることもあって、近づくことも難しい。しかし、「チビは体が小さいから、つがいになることができるだろうか」などと我が子を思う私の気持ちに変化はない。可愛かった頃のチビを思い出しながら世話をする辛く悲しい毎日が続く… (M)

トライアングル

放課後等デイサービス

特定非営利活動法人 しずおか福祉の街づくり

〒420-0032 静岡市葵区両替町1丁目7番5号 放生館2F

TEL : 054-273-1177 FAX : 054-266-4037

トライアングル・トライアングル両替町教室

ホームページ : <https://www.shizuoka-fukushi.or.jp/>

メールアドレス : triangle@shizuoka-fukushi.or.jp